

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
T-Chol	コレステロール酸化酵素法	128-219	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
P-Lipid	酵素法	145-260	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
TG	酵素的測定法 (H202比色法)	30-149	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
HDL-C	選択的抑制法	40-96	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
LDL-C	選択的可溶化法	≤139 *	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
AST	JSCC標準化対応法	13-33	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	≥500	○	—		2時間以内	採血後7日
ALT	JSCC標準化対応法	6-30	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	≥500	○	—		2時間以内	採血後7日
LDH	JSCC標準化対応法 (L→P UV法)	119-229	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	≥1000	○	—		2時間以内	採血後7日
ALP	JSCC標準化対応法 (EAE)	115-359	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
ChE	JSCC標準化対応法 (p-ヒドロキシベンゾイルコリン)	214-466	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
TP	ビュレット法	6.7-8.3	g/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
Alb定量	BCP改良法	4.0-5.0	g/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
グリコアルブミン	酵素法	11~16	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
T-Bil	酵素法	0.3-1.2	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	≥20.0	○	—		2時間以内	採血後7日
D-Bil	酵素法	≤0.2	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
GT	JSCC-IFCC標準化対応法 (γ-グルタミル-3-カルボキシル-4-ニトロアニリン)	10-47	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
BUN	ウレアーゼGLDH法 (NH3消去法)	8.0-22.0	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	≥80.0	○	—		2時間以内	採血後7日
Cre	酵素法 (H202比色法)	男性: 0.6-1.1 女性: 0.4-0.7	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	≥8.0	○	—		2時間以内	採血後7日
eGFR	計算項目 (ただし15歳以上で算出)	≥60 *	mL/min/1.73m ²	CKD診療ガイドライン	—	○	—		2時間以内	採血後7日
UA	ウリカーゼPOD法	男性: 3.6-7.0 女性: 2.3-7.0	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
AMY	JSCC標準化対応法 (4,6-イプシロン-G7-PNP基質)	42-132	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	≥1000	○	—		2時間以内	採血後7日
P-AMY	JSCC標準化対応法 (4,6-イプシロン-G7-PNP基質)	16-52	IU/L	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
無機リン(IP)	酵素法 (H202比色法)	2.5-4.7	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
CK	JSCC標準化対応法	男性: 62-287 女性: 45-163	IU/L	福岡県医師会共通基準範囲	≥1000	○	—		2時間以内	採血後7日



採取容器: ①
採取量: 8 mL
検体種別: 血清
搬送条件: 室温
保存期間: 7日

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
CK-MB	免疫阻害法	<12	IU/L	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
Ca	酵素法	8.7-10.3	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	≤6.0, ≥12.0	○	—		2時間以内	採血後7日
Na	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	138-146	mmol/L	福岡県医師会共通基準範囲	≤115, ≥165	○	—		2時間以内	当日中
K	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	3.6-4.9	mmol/L	福岡県医師会共通基準範囲	≤1.5, ≥7.0	○	—		2時間以内	当日中
Cl	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	99-109	mmol/L	福岡県医師会共通基準範囲	—	○	—		2時間以内	当日中
Mg	酵素法	1.8-2.4	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
胆汁酸	酵素サイクリング法	≤10.0	μmol/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
Fe	Nitroso-PSAP法	男性: 54-181 女性: 43-172	μg/dL	シノテスト推奨基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
UIBC	Nitroso-PSAP法	男性: 111-255 女性: 137-325	μg/dL	シノテスト推奨基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
TIBC	計算項目	—	μg/dL	—	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
シスタチンC	金コロイド法	男性: 0.63-0.95 女性: 0.56-0.87	mg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
eGFRcys	計算項目 (ただし18歳以上で算出)	≥60 *	mL/min/1.73m ²	CKD診療ガイドライン	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
ICG(停滞率)	的手法	≤10.0	%	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	※ 遮光して提出	原則当日	採血後7日
蛋白分画	キャピラリー電気泳動法	Alb分画: 55.8-66.1 α1-G: 2.9-4.9 α2-G: 7.1-11.8 β1-G: 4.7-7.2 β2-G: 3.2-6.5 γ-G: 11.1-18.8 A/G: 設定なし	%	Sebia社推奨基準範囲	—	×	平日 16:00	採取容器: ① 採取量: 8 mL 検体種別: 血清	2時間以内	採血後7日
CYFRA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤2.8 (肺良性疾病を対象) <3.5 *	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	搬送条件: 室温 保存期間: 7日	2時間以内	採血後7日
FT3	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	2.3-4.0	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
T3	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	0.83-1.30	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
T4	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	6.12-8.93	μg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
FT4	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	0.9-1.7	ng/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
PSA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤4.0	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
F/T比	計算項目	≥18	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
IgE	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤232	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
< 改訂日 > 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
CEA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	<5.68	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
AFP	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤7.0	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
AFP-L3%	LBA法 (Liquid-phase Binding Assay)	<10	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
CA19-9	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤37.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
SCC	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	≤1.5	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
NT-proBNP	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	(22.5~47.5歳)男性:55 女性:55 (40~59歳)男性:77 女性:121 (60~88歳)男性:131 女性:165 (心不全除外カットオフ値) <125 *	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後3日
高感度心筋トロポニンT	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	<100	ng/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後24時間
Feritin	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:39.9-465 女性:6.23-138	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
β2MG (S)	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	0.68-1.65	mg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
β2MG (U)	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	(随時尿) 14-329 μg/L (畜尿) 11-253 μg/day	μg/L	(随時尿) 試薬添付文書 (畜尿) 臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		3時間以内	採血後7日
CA125	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤35.0 (良性婦人科疾患を対象) <150 *	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
NSE	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤16.3	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後24時間
CA15-3	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤25	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
インスリン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤18.7	μU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	採取容器:① 採取量:8 mL 検体種別:血清	2時間以内	採血後24時間
TSH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	0.5-5.0	μU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
コルチゾール	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	7時-10時: 6.2-19.4 16時-20時: 2.3-12.3	μg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	搬送条件:室温 保存期間:7日	2時間以内	採血後5日
HGH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	(0~10歳)男性:6.29 女性:7.79 (11~17歳)男性:10.8 女性:8.05 (20~79歳)男性:2.47 女性:— (21~77歳)男性:— 女性:9.88	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後24時間
PRL	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:4.29-13.69 女性(閉経前):4.91-29.32 女性(閉経後):3.12-15.39	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
LH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:2.2-8.4 女性(卵胞期):1.4-15.0 女性(排卵期):8.0-100 女性(黄体期):0.5-15.0 女性(閉経後):11.0-50.0	mIU/ml	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
FSH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:1.8-12.0 女性(卵胞期):3.0-10.0 女性(排卵期):5.0-24.0 女性(黄体期):1.3-6.2 女性(閉経後):26.0-120	mIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
E2	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：15-35 女性(卵胞期前半)：20-85 女性(卵胞期後半)：25-350 女性(排卵期)：50-550 女性(黄体期)：45-300 女性(閉経後)：≤21 妊娠10週未満：600-3600 妊娠10-15週：800-5500 妊娠16-20週：3200-20000 妊娠21-25週：8900-27000 妊娠26-30週：7900-35000 妊娠31週以上：11000-49000	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後2日
プロゲステロン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：≤0.90 女性(卵胞期)：≤0.92 女性(排卵期)：≤2.4 女性(黄体期)：1.2-30.0 閉経後：≤0.4 妊娠前期(20週まで)：13-50 妊娠中期(21-30週)：40-130 妊娠後期(31週から)：65-220	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
テストステロン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：1.31-8.71 女性：0.11-0.47 (卵胞期, 排卵期, 黄体期) 女性(閉経後)：0.04-0.43	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
MMP-3	ラテックス免疫比濁法	男性：36.9-121 女性：17.3-59.7	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
RPR定性	ラテックス免疫比濁法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清 搬送条件：室温 保存期間：7日	2時間以内	採血後7日
TPLA定性	ラテックス免疫比濁法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
RPR定量	ラテックス免疫比濁法	<1.0	R.U	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
TPLA定量	ラテックス免疫比濁法	<10	T.U	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
Ig-G	TIA法(免疫比濁法)	870-1700	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
Ig-A	TIA法(免疫比濁法)	110-410	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
Ig-M	TIA法(免疫比濁法)	35-220	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
補体C3	TIA法(免疫比濁法)	65-135	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
補体C4	TIA法(免疫比濁法)	13-35	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
HCV関連抗体	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<1.0	S/CO	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
HBs抗原 (定性)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
HBs抗原 (定量)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<0.05	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
HBs抗体	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<10.0	mIU/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日


※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
HBe抗原	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
HBe抗体	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
HTLV抗体 (定性)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日	
HTLV抗体 (定量)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<1.0	S/CO	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
PIVKA-2	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	<40	mAU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
KL-6	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	<500	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
IL-2R	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	127-582	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
CRP	ラテックス免疫比濁法	≤0.26	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
RF定量	ラテックス免疫比濁法	≤15	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清	2時間以内	採血後7日
プレアルブミン	TIA法 (免疫比濁法)	男性：23-42 女性：22-34	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		搬送条件：室温 保存期間：7日	2時間以内	採血後7日
トランスフェリン	TIA法 (免疫比濁法)	男性：190-300 女性：200-340	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		
レチノール結合蛋白	ラテックス凝集比濁法	男性：2.7-6.0 女性：1.9-4.6	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
特異IgE	FEIA法	(陰性) クラス0 : <0.35 (疑陽性) クラス1 : 0.35-0.7 (陽性) クラス2 : 0.7-3.5 (陽性) クラス3 : 3.5-17.5 (陽性) クラス4 : 17.5-50 (陽性) クラス5 : 50-100 (陽性) クラス6 : ≥100	UA/mL	試薬添付文書	—	×	平日 14:00	採取容器 : ① 採取量 : 8 mL 検体種別 : 血清 搬送条件 : 室温 保存期間 : 7日	3時間以内	採血後7日

<アレルギー 院内実施項目>

吸入性 アレルゲン	室内塵・ダニ	ハウスダスト1 ハウスダスト2 ヤケヒョウヒダニ コナヒョウヒダニ
	樹木花粉	ハンノキ(属) スギ ヒノキ
	雑草花粉	ブタクサ ヨモギ タンポポ(属) アキノキリンソウ
	イネ科花粉	ハルガヤ カモガヤ オオアワガエリ
	昆虫(虫体、鱗粉、厘毛)	ゴキブリ ユスリカ ガ
	真菌・細菌	ペニシリウム クラドスポリウム アスペルギルス カンジダ アルテルナリア 黄色ブドウ球菌A 黄色ブドウ球菌B カビマルチ
	動物皮膚	ネコ イヌ
食物性 アレルゲン	卵	卵白 卵黄 オボムコイド(耐熱性卵蛋白)
	牛乳	ミルク
	穀類	小麦 グルテン ω-5 グリアジン 米 ソバ
	豆類・ナッツ	ピーナッツ 大豆
	魚介類	エビ カニ マグロ
	肉	豚肉 鶏肉



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

血液検査 < 血液検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
白血球数	フローサイトメトリー法	4500-8500	/μL	臨床検査法提要	≦200, ≧30000	○	—		30分	採血後8時間以内	
赤血球数	シーフロー-DC検出法	男性：410-530 女性：380-480	×10 ⁴ /μL	臨床検査法提要	—	○	—		30分	採血後8時間以内	
ヘモグロビン	SLS-ヘモグロビン法	男性：14.0-18.0 女性：12.0-16.0	g/dL	臨床検査法提要	≦7, ≧20	○	—		30分	採血後8時間以内	
ヘマトクリット	シーフロー-DC検出法	男性：39.0-52.0 女性：35.0-48.0	%	臨床検査法提要	—	○	—		30分	採血後8時間以内	
MCV	計算項目	83-100	fL	臨床検査法提要	—	○	—		30分	採血後8時間以内	
MCH	計算項目	27.0-32.0	pg	臨床検査法提要	—	○	—		30分	採血後8時間以内	
MCHC	計算項目	32.0-36.0	g/dL	臨床検査法提要	—	○	—		30分	採血後8時間以内	
血小板数	シーフロー-DC検出/ フローサイトメトリー法	13.0-32.0	×10 ⁴ /μL	臨床検査法提要	≦3, ≧100	○	—		30分	採血後8時間以内	
網状赤血球	フローサイトメトリー法	2-20	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00		30分	採血後8時間以内	
好中球	フローサイトメトリー法	45-75	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00		採取容器：⑤ 採取量：2 mL 検体種別：全血 搬送条件：室温 保存期間：1日	4時間	採血後5時間以内
桿状核球	フローサイトメトリー法	1-10	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
分葉核球	フローサイトメトリー法	45-65	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
好酸球	フローサイトメトリー法	1-4	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
好塩基球	フローサイトメトリー法	0-1	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
単球	フローサイトメトリー法	1-8	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
リンパ球	フローサイトメトリー法	25-45	%	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	4時間		採血後5時間以内	
T・B細胞百分率	フローサイトメトリー法	CD3：50-83 % CD19：6-23 % NK：5-43 %	%	スタンダード検査血液学	—	×	平日 15:00	採取容器：⑤・その他 搬送条件：室温 保存期間：1-2日		2日	採血後5時間以内
T細胞サブセット	フローサイトメトリー法	CD4：26-58 % CD8：13-41 % CD4/CD8：0.80-3.50 %	%	スタンダード検査血液学	—	×	平日 15:00			2日	採血後48時間以内
造血器悪性腫瘍 細胞検査	フローサイトメトリー法	—	—	—	—	×	平日 14:00	採取容器：④・⑤・ その他 搬送条件：室温 保存期間：2日		数日	採血後48時間以内
細胞表面免疫 グロブリン	フローサイトメトリー法	—	—	—	—	×	平日 14:00		数日	採血後48時間以内	
赤血球沈降速度	ウエスターグレン法との相関 (マンレー補正)	60分値 男性：2-10 女性：3-15	mm/hr	臨床検査法提要	—	×	平日 16:00	採取容器：⑥ 採取量：1.1 mL 検体種別：全血 搬送条件：室温 保存期間：1日	50分	追加不可	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

[目次に戻る](#)

検査項目要覧

凝固検査・尿生化学検査 < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
PT(活性%)	計算項目	70-100	%	LSIメディエンス推奨基準範囲	—	○	—	 <p>採取容器：③ 採取量：2.7 mL (小児用)：1.8 mL 検体種別：血漿</p> <p>搬送条件：室温 保存期間：2日</p>	2時間以内	採血後4時間
PT(秒)	凝固時間法 (リコンビナント組織トロンボプラスチ)	9.4-12.5	秒	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
PT-INR	計算項目	—	—	—	≥4.00	○	—		2時間以内	採血後4時間
APTT	凝固時間法 (合成リポ質および軽質無水ケイ酸)	25.1-36.5	秒	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
Fibgn	凝固時間法	238-498	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
HEPA	凝固時間法	70-120	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後4時間
ATIII	合成基質法	83-118	%	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
FDP	ラテックス免疫比濁法	<5.0	μg/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
SF	ラテックス免疫比濁法	<7.0	μg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後4時間
D-Dimer	ラテックス免疫比濁法	<1.0	μg/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
UN(U)	ウレアーゼGLDH法 (NH3消去法)	6.5-13.0 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	 <p>採取容器：⑦ 採取量：10 mL 検体種別：尿</p> <p>搬送条件：室温 保存期間：7日</p>	2時間以内	採取後7日
Cre(U)	酵素法	0.5-1.5 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
UA(U)	ウリカーゼPOD法	0.4-1.2 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
AMY(U)	JSCC標準化対応法 (4,6-エチリデン-G7-PNP基質)	(随時尿) 80-702 IU/L	IU/L	シノテスト推奨基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
IP(U)	酵素法 (H202比色法)	0.5-1.0 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Ca(U)	酵素法	150-290 mg/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Na(U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	70-250 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
K(U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	25-100 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Cl(U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	70-250 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
尿糖定量	グルコキナーゼ-UV法	(随時尿) 2-20 mg/dL (畜尿) 40-85 mg/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
尿蛋白定量	ピロカテコールバイオレット法	20-120 mg/day	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	2時間以内	採取後7日	
尿中Alb	TIA法(免疫比濁法)	(早朝尿) ≤16.5 mg/L (随時尿) ≤29.3 mg/L (畜尿) ≤23.8 mg/L	μg/mL	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	2時間以内	採取後7日	
β2MG(U)	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	(随時尿) 14-329 μg/L (畜尿) 11-253 μg/day	μg/L	(随時尿) 試薬添付文書 (畜尿) 臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	3時間以内	採取後7日	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

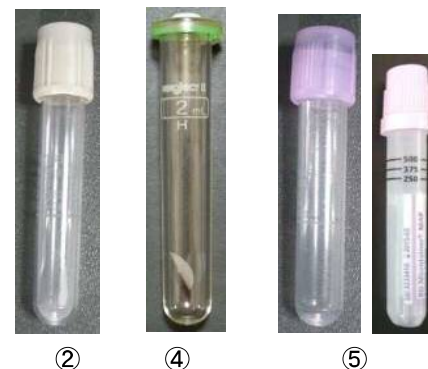
生化学・免疫・内分泌・腫瘍マーカー < 生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器	搬送条件	所要時間	追加可能時間	保存期間
血糖(グルコース)	ブドウ糖酸化酵素(GOD)電極法	(空腹時) 80-109	mg/dL	福岡県医師会共通基準範囲	外来: ≤50, ≥350 入院: ≥500	○	—	② 2 mL 血漿	室温	2時間以内	採血後1日	7日
HbA1c (NGSP値)	HPLC法	4.6-6.2	%	日本糖尿病学会	—	×	平日 16:00	② 2 mL 全血	室温	2時間以内	採血後7日	7日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器	搬送条件	所要時間	追加可能期間	保存期間
心筋トロポニンT	免疫クロマトグラフィー法	<50	ng/L	試薬添付文書	—	○	—	④ 2 mL 全血	室温	2時間以内	追加不可	1日
ミオグロビン	免疫クロマトグラフィー法	男性: ≤76 女性: ≤64	ng/mL	試薬添付文書	—	○	—	④ 2 mL 全血	室温	2時間以内	追加不可	1日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器	搬送条件	所要時間	追加可能時間	保存期間
NH3(アンモニア)	ドライケミストリー法	12-66	μg/dL	試薬添付文書	≥200	○	—	⑤ 2 mL 全血	氷冷	2時間以内	追加不可	1日
BNP	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	≤18.4	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	⑤ 2 mL 血漿	室温	2時間以内	採血後4時間	1日
ACTH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	7.2-63.3	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	⑤ 2 mL 血漿	氷冷	2時間以内	追加不可	7日




※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

髄液検査 < 細胞数・細胞種類:血液検査部門 >
< 生化学項目:生化学・免疫検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
糖定量	グルコキナーゼ-UV法	50-75	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
蛋白定量	ピロカテコールバイオレット法	10-40 (脳室 : 10-15) (大槽 : 15-25) (腰椎部 : 20-40)	mg/dL	臨床検査法提要第33版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
アルブミン定量	免疫比濁法 (TIA)	11.9-18.3	mg/dL	体腔液検査のすべて	—	○	—		2時間以内	採取後7日
Cl (L)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	120-125	mmol/L	臨床検査法提要第33版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
LDH	JSCC標準化対応法 (L→P UV法)	≤25	IU/L	臨床検査法提要第33版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
細胞数	用手法	基準値 : <5 軽度増加 : 5.0-20 中等度増加 : 20-50 強度増加 : >50	個/μL	臨床検査法提要第33版	—	○	—	採取容器 : ⑦ 採取量 : 5 mL 検体種別 : 髄液	30分	追加不可
細胞種類	用手法	リンパ球 : 60-70 単球様細胞 : 20-30 多形核細胞 : 2.0-3.0 赤血球 : 0	%	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	搬送条件 : 室温 保存期間 : 7日	4時間	追加不可


※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

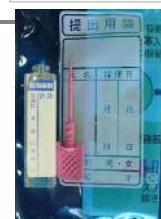
※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

尿一般・糞便検査 < 一般検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
比重	屈折率法	1.005-1.030	—	US特別編集号	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
pH	試験紙法	4.5-7.5	—	US特別編集号	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
蛋白質	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ブドウ糖	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ケトン体	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
潜血	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ウロビリノーゲン	試験紙法	0.1-1.0	Ehrlich単位/dL	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ビリルビン	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
白血球	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
亜硝酸塩	試験紙法	(-)	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
TP/CRE	試験紙法	NORMAL	—	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
蛋白半定量	試験紙法	陰性	mg/dL	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		採取容器：⑦ 採取量：10 mL 検体種別：尿	40分	採取後4時間以内
糖半定量	試験紙法	陰性	mg/dL	カラーアトラス尿検査	—	×	平日 16:00		搬送条件：室温 保存期間：1日	40分	採取後4時間以内
RBC	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法	—	×	平日 16:00	90分	採取後4時間以内		
WBC	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法	—	×	平日 16:00	90分	採取後4時間以内		
扁平上皮	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法	—	×	平日 16:00	90分	採取後4時間以内		
糞便Hb濃度	金コロイド凝集法	<100	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	採取容器：⑧	1時間	—	
糞便Hb判定	金コロイド凝集法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	採取量：専用容器 検体種別：便	1時間	—	
糞便Tf濃度	金コロイド凝集法	<50	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	搬送条件：室温 保存期間：1日	1時間	—	
糞便Tf判定	金コロイド凝集法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	1時間	—		



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
ABO式血液型検査	カラム凝集法/試験管法	A型、B型、O型、AB型	—	新輸血検査の実際 初版	A型、B型、O型、AB型以外	○	—	※1	20分	当日採血分
Rh(D)式血液型検査	カラム凝集法/試験管法	Rh(D)陽性、Rh(D)陰性	—	新輸血検査の実際 初版	Rh(D)陽性 Rh(D)陰性以外	○	—	※1	20分	当日採血分
不規則抗体検査	カラム凝集法/試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00	採取容器：⑨ 採取量：5 mL 検体種別：全血 搬送条件：室温 保存期間：1週間	40分	当日採血分
直接クームス試験	試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00		20分	当日採血分
間接クームス試験	カラム凝集法/試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00		30分	当日採血分
不規則抗体同定検査	試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00	※2	6時間	当日採血分
交差適合試験	カラム凝集法/試験管法	適合	—	新輸血検査の実際 初版	不適合	○	—		40分	採血後3日以内

※1 ⑨と⑩を採血

※2 ⑨を2本採血




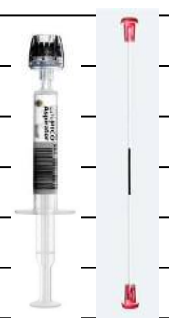
※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

血液ガス検査 < 生理機能検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
< 改訂日 > 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
pH	電極法	7.35~7.45	—	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
PO ₂	電極法	80.0~100.0	mmHg	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
PCO ₂	電極法	35.0~45.0	mmHg	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
HCO ₃ ⁻	電極法	19.0~30.0	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
ABE	電極法	-6.0~6.0	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
SBC	電極法	20~29	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
tCO _{2(p)}	電極法	20~32	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
tHb	電極法	11.5~17.4	g/dL	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
SO ₂	電極法	75.0~99.0	%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
O ₂ Hb	電極法	95.0~99.0	%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—			90秒	追加不可
COHb	電極法	0.5~2.5	%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—			90秒	追加不可
MetHb	電極法	0.4~1.5	%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—			90秒	追加不可
RHb	電極法	1.0~5.0	%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—			90秒	追加不可
tO ₂	電極法	12.0~24.0	Vol%	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—	90秒		追加不可	
O ₂ CAP	電極法	—	Vol%	—	—	○	—	90秒	追加不可		
Na ⁺	電極法	135.0~148.0	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 採取容器：⑩ 採取量：1 mL以上 検体種別：全血 搬送条件 ：すみやかに測定 保存期間 ：保存不可 </div>	90秒	追加不可	
K ⁺	電極法	3.50~4.50	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
Cl ⁻	電極法	98.0~107.0	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
Ca ²⁺	電極法	1.120~1.320	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
Ca (7.4)	電極法	—	mmol/L	—	—	○	—		90秒	追加不可	
Anion gap	電極法	21~15	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
Glu	電極法	60~110	mg/dL	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可	
Lac	電極法	0.4~2.2	mmol/L	ラジオメーター社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—	90秒	追加不可		

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

検査項目要覧

細菌検査 < 細菌検査部門 >

別紙2 検体取扱手順書 Ver.2
<改訂日> 2014年9月8日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器	採取量	検体種別	所要時間	追加可能期間	保存期間
HIV	ELFA法 (蛍光酵素免疫測定法)	<0.25 (陰性)	—	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	⑮	6 mL	血清	3日以内	採血後7日	7日
CMV IgG	ELFA法 (蛍光酵素免疫測定法)	<4	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	①	6 mL	血清	3日以内	採血後7日	7日
CMV IgM	ELFA法 (蛍光酵素免疫測定法)	<0.70	テストバリュー	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	①	6 mL	血清	3日以内	採血後7日	7日
HCV (TaqmanPCR法)	リアルタイムPCR法	検出せず	logIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	⑮	6 mL	血清	7日以内	—	7日
一般細菌	—	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	—	1週間以内	—	7日
塗抹	グラム染色	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	当日中	—	-
培養	—	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	4日以内	—	-
感受性	—	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	4日以内	—	-
嫌気培養	—	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	7日以内	—	-
抗酸菌	—	—	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	8週間	—	-
塗抹	チールネルゼン染色	陰性	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	当日中	—	-
培養	小川培養/液体培養	陰性	—	—	—	×	平日 15 : 00	—	—	材料種別	8週間	—	-
エンドトキシン	比濁法	<5.0	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	⑭	—	全血	3時間以内	当日採取分	1日
β-Dグルカン	比濁法	<11.0	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	⑭	3 mL	全血	3時間以内	当日採取分	1日
プロカルシトニン	酵素免疫測定法 (サンドイッチ法)	<0.5	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15 : 00	⑭	3 mL	全血	1時間以内	当日採取分	1日
尿中肺炎球菌莢膜抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑦	3 mL	尿	30分以内	当日採取分	7日
尿中レジオネラ抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑦	—	尿	30分以内	当日採取分	7日
CDトキシン	イムノクロマト法	GDH(-)/トキシン(-)	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	1時間以内	当日採取分	7日
ロタウイルス抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	30分以内	当日採取分	7日
ノロウイルス抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	30分以内	当日採取分	7日
インフルエンザ	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑰	—	鼻腔	30分以内	—	-
RSウイルス	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑰	—	鼻腔	30分以内	—	-
アデノウイルス	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑰	—	鼻腔	30分以内	—	-

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いているものを臨床判断値とする。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。